

観察記録ノート

昆虫

ギフチョウの蛹化場所

井原道夫

長野県飯田市上郷でアオスジアゲハが発生

井原道夫

長野県内でのアオスジアゲハの発生状況は、井原(2001, 2002, 2005)でまとめた。長野県内では、最南部の天龍村では継続して発生しているが、それ以外地域では、数年に一度といった状況であった。

飯田市上郷においては、1980年と2004年の2回の記録があるが、2009年に再び発生を確認したので記録しておく。

【成虫】飯田市上郷黒田, 31.VIII.2009, 井原治文目撃。

【終齢幼虫】同地, 29.IX.2009, 井原道夫確認。

【蛹】同地, 12.X.2009, 井原道夫確認。

2009年9月29日に確認した幼虫は、10月2日に玄関の欄間枠下側で蛹化した(地上高2.5m)。他にも蛹があるのではと周囲を探し、玄関先のコンクリート製円柱上部で蛹化していた別の個体を確認できた。幼虫の生育状況から判断して、8月31日に目撃された成虫は、産卵に訪れていたものと思われる。

飯田市上郷黒田での発生は、植栽したクスノキで育ったものである。1980年の時は越冬の確認もできたが、2004年は7月中旬の産卵で、越冬はしなかった。越冬については最近の記録として、2001年の豊丘村がある(井原, 2002)。

引用文献

井原道夫, 2001, 伊那谷南部におけるアオスジアゲハの分布。

伊那谷自然史論集, 2, 55-58.

井原道夫, 2002, 長野県豊丘村におけるアオスジアゲハの越冬記録。伊那谷自然史論集, 3, 95.

井原道夫, 2005, 長野県伊那谷南部のアオスジアゲハの記録Ⅱ。伊那谷自然史論集, 6, 131-132.

(いはら みちお/〒395-0004 飯田市上郷黒田571)

飯田市でギフチョウの羽化殻を確認することができたので報告する。

2009年4月29日 飯田市竜丘上川路 羽化殻を確認(図1, 2)

4月19日に『飛んでいるギフチョウを見る会』が行われた。その時羽化直後の♀個体を目撃することができた。蛹化場所を確認することができるのではないかと、成虫が静止していた付近を調査したところ、羽化殻を見つけることができた。場所は枯れ葉に埋もれたなかにあった小枝(地下茎)の下側で蛹化していた。地表5cmほどの位置でありわずかな空間が保たれていた。蛹化位置の近くには食草であるヒメカンアオイは見あたらず、かなりの距離を移動した後で蛹化したと思われる。



図1 ギフチョウの蛹化位置(↑)(2009. 4. 29)



図2 羽化殻